

あなたの声をきかせてね！ コーナー投稿募集

あなたの声をお聞かせください。身近な出来事や町に関する要望・意見など何でも結構です。投稿いただいた中から広報はがへ掲載させていただきます。その際の添削については、ご了承ください。

Handwriting practice lines for the newsletter submission.

イラストも募集しています。広報はがのカットとして掲載させていただきますので、濃くはっきりとお書きください。

Blank space for drawing or illustrations related to the newsletter submission.

はがの文芸

短歌

温床に蒔きし胡瓜とトマトの苗は
双葉となりて日毎に育つ

水沼 弘(東高橋)

農民の多く住む町挨拶は
よく降りますね一雨欲しいね

藤澤久夫(稲毛田)

徒長枝に一輪咲きし返り花実を
取り終えて梨畑しずか

荷見泰一(芳志戸)

散りてなほ空を見上ぐる夏椿
ひと日の花の地にかへりゆく

豊田静子(下延生)

サークルなどで活躍されている皆さんの作品を
ご紹介していきます。どうぞお楽しみ。

俳句

向日葵のやうな瞳の児と合ひり
板橋晴子(西水沼)

田の面に白鷺細い首を出し
稲川清子(与能)

久々の晴れ間にかかる虹の橋
大畑ハマ子(下延生)

ハンカチをベンチに敷て忘れけり
大村可志子(下高根沢)

川柳

ぜいたくな気分になる薪の風呂
野沢静子(下延生)

運命を変えてみたいの花菖蒲
山本美枝子(稲毛田)

脱線の長い挨拶座が白け
小林正孝(祖母井)

もの忘れ思い出す頃用が足り
七井章治(与能)

寿へ手の切れそうな礼包む
豊田静子(下延生)

あなたの声を聞かせてね！
お便りお待ちしております！

●田植え体験はいっぱい

7月号の表紙を飾った「芳賀北
小の田植え体験」の写真は、微笑
ましいですね。昭和40年台の私が
子どものころは、小学校で田植え
は一切ありませんでした。もっと
もあのころは児童の大半の家が専
業農家で、家で苗運びの手伝いな
どをやらされたものでした。農業
後継者難の今、小学生のうちから
学校で田植えを学ばせるのは大変
良いことだと思います。



▲高松イクさん (下高根沢)



▲鈴木モコさん (西高橋)